

放射線教育に関する実践事例

いわき市立平第一学校 井浦めぐみ

1 題材名 野菜を食べよう

2 題材の目標

- ◎ 野菜が健康な身体づくりに大切な食べ物であることを知り、苦手な野菜も自ら進んで食べようという意欲をもつ。

3 題材の指導・評価計画（総時数 1 時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準
事前	苦手な野菜のメニュー、給食の何をどのぐらい残しているかのアンケートを書く。	児童の実態を把握し、アンケートの結果をまとめ、本時の学習につなげる。	
本時	アンケート結果を見て気づいたことを話し合う。 野菜の必要性を予想し、栄養士のお話を聞く。 調理や食材の安全性について話を聞く。 好き嫌いをしないで食べるめあてを考える。	アンケートの結果から、野菜が多いことに気づかせる。 野菜の必要性だけでなく、1日の摂取量を知らせ、実物を見せることで、量感をつかませる。 学校給食共同調理場から出されている放射性物質のモニタリング検査結果を見せ、給食には毎日安全な食材が提供されていることを示す。 日常生活に即した具体的なめあてをもてるようにする。	いろいろな野菜を好き嫌いをしないで食べようとする気持ちをもとうとしている。 (関心・意欲・態度) 野菜が健康な身体づくりに大切な食べ物であることを理解している。 (知識・理解)
事後	自分の嫌いな物でも食べようとすることをめあてにし、実践する。	給食時の児童の様子を観察し、随時個別指導をする。 家庭へも働きかけをし、協力を仰ぐ。	

4 おわりに

学級活動の食育の指導の中で、野菜の必要性を考えさせるとともに、子どもたちにとって身近である給食の食材の安全性を取り上げたことは効果的であった。